



2021-2022 年度主題
 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea) キム・サンチェ
 主 題 “Ys Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 スローガン “Heal the World with Love and Dignity”
 「愛と尊敬で世界を癒やそう」
 アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
 主 題 “Make a difference beyond the 100th”
 「100年を越えて変革しよう」
 スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
 東日本区理事(RD) 大久保知宏 (宇都宮)
 主 題 “Think for the next generation”
 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」
 スローガン “We are stronger together than we are alone”
 「絆を深めるとき」
 湘南・沖縄部長(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
 主 題 「咲かそう 人の輪~明るく・楽しく・元気よく~」
 クラブ会長 久保 勝昭
 “良きつながりを持って” 心ひとつに「無理の無い活動を」



第33回 YVLF (ズーム) に参加して

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保勝昭

2021年湘南・沖縄部のユース事業主査の役を何も考えず引き受けてしまいました。だいぶ昔の話になりますが、確か2004~5年は部の部長でした(YVLFに参加)2007年にはY3・(YMCA・ユース・ワイズメンズクラブ)を立ち上げた事が多少、記憶に残っていました。以来ユースとは関わりが有りませんでした。今回、9月11、12日ズームでしたが、初めて参加しましたので感想を書いてみました。

アイスブレイキング(新戸先生の講演より)という言葉をはじめてきました。

「硬い氷を砕くよう」—リラックスさせる・重い空気を軽くさせる・声を出すきっかけを作る等、まさに我々がプログラムを進行させるのに必要な雰囲気作りの技法である。リーダーの人も自分自身も良い事を学んだ。そして人を指導して行くのに必要なテクニックであり、何よりも身体と紙とエンピツがあればできるところが素晴らしい。

平戸愛香先生の講演を聞くのはまったく初めてである。先生自身、同性愛者を告白され多くの葛藤があったにもかかわらず、その堂々としたお話ぶりに時間の経つのも忘れ聴き入った。自分なりにまとめてみた・・・

まず、「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」と云う一線を引く前に一度、頭で整理して行動(話す)すべきである。人に仕事をたのむ時に例えば・・・

●「テーブルを運ぶとき男の人来て」●「お茶くみするから女の人来て」この事は、男性と女性の仕事を予め決めつけてしまっている。生産性(仕事)を優先させると色々な問題が起こってくる。どこで物事を線引きするかを考える事が大切である。この他にも沢山の同性愛についてお話されたが自身の勉強不足の為あまり詳しく書く事が出来なかった。

自己・リーダー活動紹介「理想のリーダー像」グループディスカッション

●コミュニケーションを取ることが大事(言葉に気をつけながら)
 ●自分が緊張しないようまた相手が緊張しないようにテクニックを身につける。
 ●誤った情報を修正し、正しい情報を教えてあげる。
 ●其々の環境や接する人によって変わるが、日々活動している中で色々な問題を追及していく。
 この他、多くの意見が出たが、若者らしく理想のリーダー像まとめあげた。また「オリジナルキャンプソングー作詞・作曲」を披露した。新戸先生、平良先生の貴重な講演を聴く事が出来、リーダーそしてワイズにとっても素晴らしい未来が開ける二日間であった。

第91回 YMCA-Y's 協議会

日時：2021/9/7(火) 19:00～8:40

開催形式：Zoom

協議内容

- ★9/11 (土)～12日(日) 12:30～
第33回 YMCA リーダー研修会(YVLF)
オンライン開催(横浜 YMCA が事務局)
参加リーダー36名
テーマ「今ユースボランティアに求められること」
- ・11日 12:30 基調講演「性の多様性について」
13:30 アイスブレイキング
「理想のリーダー像」
「なぜリーダーをはじめたのか」
16:00 横浜リーダータイム
17:00 ふりかえり
- ・12日 12:30 基調講演を受けて、乾燥意見交換
14:00～グループディスカッション

- ★11/6～20 チャリティーラン開催の予定
期間中の全歩数で順位を競う。
団体参加5名5万円・個人参加1名1万円
みてわかるように、ホームページを作成中。
※いつも同じメンバーなので、新たな協力者を募集中。今年も応援動画をお願いする。

- ★第28回 AIDS フォーラム in 横浜開催報告
期 間：8月6日(金)、7日(土)、8日(日)
会 場：オンライン (Zoom・YouTube)
テーマ：「ともに生きるつながりの参加者になる」
コロナ禍でますます分断が進んだ社会において、つながることの重要性について、ともに考えようと開催された。

- ★第8回日本語スピーチコンテスト
主催：横浜 YMCA カレッジグループ
共催：横浜クラブ・厚木クラブ
日時：2021/9/1 (水) 10:30～12:00
会場：横浜YMCA 9階チャペル オンライン配信
参加者：7名 テーマは自由
スピーチ時間5分以内
目的：①日本語学科の学生が日本語及び日本文化を学ぶ機会と場を広げ、異文化交流を果たすことを支援する。
②日本語学科 3校の学生が集い互いに交流することにより、日本語学習の意欲を高める。

- ★サファリーライブツアー
2021/9/25(土) Zoom を利用した 90分間の貸し切りオンラインツアー

- ★各クラブの活動報告
・横浜：古賀会長入院中。日本語スピーチコンテスト支援

- ・鎌倉：Zoom 活用が順調に進み、遠方からも参加出来、兄弟クラブの交流もできるようになった。
- ・とつか：電話、メールで交換している。
10/23(土)とつかホールで講演予定。
- ・金沢八景：オンラインは苦手でやっていない。
緊急事態宣言中は例会中止。
- ・つづき：納涼会は中止、例会はハイブリット方式
9月は、寿地区センターの三森先生の卓話予定。10月例会は、秋元先生の卓話を予定。
- ・つるみ：例会、7月は対面で8月は中止
9月は資料を配布して電話例会
10月に新入会員入会式を予定。

- ★次回予定
12月7日(火) 19:00～20:30
中央 YMCA で開催 鎌倉クラブ担当

「ちょこっと助け隊」定例会

場所：鶴見中央地域ケアプラザ
参加者：相澤・坂爪・佐久間・上原・山川・座覇
中村・久保・横山(ケアプラザ)

- 活動報告
- 7/16 豊岡町 ゴミ出し 担当(上原)
 - 7/17 豊岡町 ゴミ出し 担当(上原)
 - 7/17 鶴見中央 ボードゲーム 担当(橋爪)
 - 7/24 寺谷 窓ふき 担当(上原・中村)
 - 7/31 寺谷 枝切り 担当(上原、橋爪、佐久間、山川)
 - 8/20 佃野町 草刈り 担当(金子)
 - 9/ 2 鶴見中央 換気扇掃除 担当(相澤)
- 9月の依頼
- ・豊岡(枝切り)・豊岡(草刈り)・豊岡(枝切り)・豊岡(ゴミ出し)

- その他
- ① 傾聴ボランティア講座報告(参加者17人)
9/3 13:00～15:00 多目的ホール
講師「はやま かおり」さん
テーマ：良い聴き手になるために
 - ② 今年度の定例会について
10月定例会 10/ 8(金) 地域ケアルーム
11月定例会 11/12(金) 地域ケアルーム

※緊急事態宣言のため、対面例会はできず、電話例会とする。

在籍会員数	例会参加者数		出席率
10名	メンバー	10名	100%

〈今後の予定〉

- ・例会：10月14日(木) 16:00～18:00
新入会員入会式
場所：鶴見中央ケアプラザ・多目的ホール
- ・役員会：10月23日(土) 13:30～



～ PCR 検査体験記 ～



私事ですが9月の中旬に発熱してしまい、新型コロナウイルス感染症も疑われPCR検査を受けました。夜発熱をし、すぐに新型コロナコールセンターに連絡を入れましたが、翌日以降でないとの検査予約はとれないとの事で、自分で近隣の病院に連絡し翌日の朝PCR検査を受けることになりました。次の日の朝、車で病院に向い、車に乗ったまま駐車場で待っていると、防護服を着た看護師が出てきて、抗原検査とPCR検査の両方を車に乗ったまま実施しました。いわゆるドライブスルー方式での検査でした。抗原検査は30分後に結果が出て陰性でしたが、PCR検査の結果は翌日でした。

発熱からPCR検査の結果が出るまで2日近くありましたが、その間の自宅療養に、自宅がマンションのため、限界を感じました。狭い部屋に布団を引き、窓を開け、扇風機と空気清浄機で喚起し、食事はお盆に載せて、ドアの前においてもらい、出来るだけ接触しないようにしましたが、トイレは一つしかなく、家族への感染リスクは高くまた、部屋に閉じこもっているのもかなりのストレスでした。2日間でこんな感じなので、2週間の自宅療養は難しいと思いました。PCR検査も陰性で、熱もすぐに下がり、体調も回復し健康のありがたさが身に沁みました。新県コロナ感染症の自宅療養者も多くいると聞いています、その方たちの一日も早い回復と、新型コロナウイルス感染症の終息を心からお祈りいたします。



鶴見中央 YMCA 島田 徹

《参考資料》

療養中の注意事項

- ・ 療養期間中は外出をしないでください。
- ・ 同居する方とは生活空間を分けてください（極力個室から出ないようにしてください）。
- ・ 部屋を出入りする際はマスクを着用・こまめに手洗いをし、定期的に部屋の換気もおこなってください。
- ・ 鼻をかんだティッシュ等は密閉して捨ててください。
- ・ 健康状態の正確な把握が困難となる恐れがあることや症状の悪化の恐れがあることから、療養中の飲酒・喫煙は厳禁です。
- ・ 災害発生時又は災害発生の恐れがある場合、市町村から療養者あてに連絡し、避難が必要であることの説明や宿泊療養施設への移動について意向を確認する場合があります。

同居する方の注意事項

- ・ 患者の世話等での接触は最小限としてください。
- ・ できるだけ同居者全員がマスクを着用し、こまめに手洗いしてください。
- ・ ドアノブなど患者が手で触れる部分はアルコール等で消毒をしてください。
- ・ トイレ・風呂等、患者と同居者が共用する場合は清掃と換気を十分におこない、入浴は患者が最後に行ってください。
- ・ 食器、シーツ等は患者専用のものを用意し、共用しないでください。食器類の洗浄や衣類・リネンの洗濯は、通常の洗剤で行い、しっかりと乾燥させてください
- ・ 患者の体液で汚れた衣類、シーツ等を扱う際は手袋とマスクをつけてください。
- ・ 不要不急の訪問者は受入れないようにしてください。配達員等も極力接触しないよう配慮をお願いします。



傾聴ボランティア講演会 ～よい聴き手になるために～

9/3(金) 13:00～鶴見中央地域ケアプラザに於いて、傾聴ボランティア講演会が実施されました。傾聴について何も知らない方でも参加できる講座で、「言葉は聞いたことある」「興味がある」「以前学んだことがあるが確認したい」方が集まり、傾聴の入口を2時間でお伝えする講演でした。



講師：(社)日本傾聴能力開発協会(JKDA)認定 傾聴1日講座®(基礎)講師
はまや かおり氏

傾聴の3つのポイント説明していただき、自分をほめたり、ねぎらいの言葉をかけてもらったりすることで自分を認め、相手の気持ちを知り関心を持つという内容でした。2人1組による体験型の講座で、参加者の方は傾聴を実感しながら実施できたので、とても分かりやすかったという声をいただきました。講座を通し、より多くの人々の理解が深まり、ボランティア活動や聴き手として役に立つことを願います。

(鶴見中央 YMCA 横山 裕二)

「ちょこっと助け隊」活動報告

日時：2021年9月24日(金) 9:00～11:00

場所：豊岡 一人暮らし女性宅 3本の枝切り

手伝い：横山、坂爪、中村、男性2人が枝を切る。9束と90ℓのゴミ袋2袋。

ゴミ集積場所が自宅の隣、翌日が収集日だから良かったと、すっきりした植木をみて、とても喜んでくださり感謝されました。切った枝の山をみて、集積場所に運ぶお手伝いをしてあげたいと思いました。どこまでやって良いか？ボランティアの難しさを感じました。

